

月刊 あなたにこの **本** を！ 平成 22 年 **6** 月号

大阪市立図書館 「あなたにこの本を！」選定委員会

大阪市立図書館が購入した新しい本の中から、図書館員のおすすめの本を紹介します。



…字が大きめ



…中高生にも



…図・写真が多い

※価格のあとの()内の番号は、大阪市立図書館書誌 ID です。



偏愛ムラタ美術館



村田喜代子 著
平凡社 1995 円 (0011971671)

ジャンル：知識・教養を深める

本書では、小説家である著者が、創造力を刺激された古今東西の個性的な絵の数々をとりあげて読み解く。ゴッホが油彩で描いた浮世絵や村山槐多(かいた)の自画像など、どの絵も描き手のあふれんばかりの情熱が凝縮されていて圧倒される。また、昭和新山の生成過程を克明に描いた老郵便局長や、往時の炭坑労働の様子を不思議な錦絵風に描き上げた元坑夫など、描き手の様々な人柄や人生がうかがえるエピソードも興味深い。美術雑誌の連載を単行本化。〔720.4〕



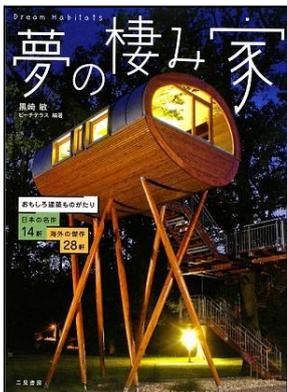
椰子(やし)の木陰でハッケヨイ

—タイで奇跡の成功を収めた男の半生—

倉沢すみお 著
T0 ブックス 1470 円 (0012014183)

ジャンル：生き方・考え方に学ぶ

学生時代に相撲に打ち込んだ著者は、36歳で銀行勤めを辞め、妻の母国タイの地で、一から再出発する。移住後すぐに離婚した話や、日系企業で働きビジネスのこつを学んだ話、日本語書籍のチェーン店を経営するまでになった話など、波乱に満ちた半生を率直に語る。また、タイで相撲を広めようと、土俵を作り、選手たちを熱心に指導。逆境に負けず、相撲で培った強い心で異国の地で精力的に活動する姿は頼もしく、勇気づけられる。〔Bクラサ〕



夢の棲(す)み家



—おもしろ建築ものがたり、日本の名作 14 軒海外の傑作 28 軒—

黒崎 敏、ビーチテラス 編著
二見書房 1995 円 (0012010388)

ジャンル：暮らしにうるおいを

本書は、若手建築家の作品を中心に、国内外の趣向をこらした個性的な家を、多数の写真と設計図で紹介する。今にも動き出しそうなメキシコのオウムガイ型の家や、同じ太さの杉の角材のみでこしらえた熊本県の「木材小屋」など、登場する家々はどれも独自の魅力に富んだものばかり。いずれも建て主と建築家の冒険心と好奇心、そしてお互いへの信頼から生まれた夢の結晶だ。どんな型にもはまらない自由な発想に驚かされ、想像力がかきたてられる。〔527〕

裁判傍聴ハンドブック

—傍聴のポイントから裁判員制度のしくみまで早わかり—

バウンド 編著

河出書房新社 1365 円 (0012044083)

ジャンル：知識・教養を深める

本書は、裁判傍聴で知っておきたい傍聴の方法や裁判員制度、用語等について簡潔にまとめたガイドブックである。前半各章では予備知識・実際の流れ・裁判のポイントの順に説明。後半、罪名の章は裁判での争点に注目して書かれ、裁判用語の章はJR福知山線脱線事故などを例に解説する。イラストや図表が効果的に取り入れられ、また、様子が伝わってくる傍聴記もあり、裁判が身近に感じられる。傍聴したい人だけでなく、ニュース報道に接する際の参考になる。〔327〕

大阪古地図むかし案内 —読み解き大坂大絵図—

本渡 章 著

創元社 2100円 (0012006974)

ジャンル：大阪にゆかりの本

江戸時代に書かれた関西の名所案内の解説本を出した著者が、同時代の大阪の古地図について、町絵図を中心に紹介する。元禄期の「大絵図」では、大阪城が簡略化され、四天王寺や難波橋(なにわばし)は実際の尺度より大きく描かれていた。著者は、特徴のある箇所を焦点をあて、他の文献も引用して、人々の感情、風俗、時代背景を読み解いていく。全体図のほか部分拡大の図もあり、古地図を読み解きながら近世大阪の文物や風情を味わうことができる。〔291.63〕

海に沿って歩く

森 まゆみ 著

朝日新聞出版 1680 円 (0012016777)

ジャンル：歴史・文化に親しむ

文筆家である著者が日本各地を巡ってつづった紀行文集。離島や半島を訪れ、屋久島の縄文杉などの観光名所を紹介する。一方、地域誌の編集を長らく務めた著者らしく、住民からの聞き書きを豊富に盛り込む。郷土への愛着や、厳しい自然に翻弄(ほんろう)されてきた悲しみなどが丁寧に記され、読みごたえがある。さらに「町並み」や「文学作品の舞台」がテーマの旅も収録され、旅心が刺激される。いずれの地も、魅力的な素顔がうかがえる。〔291.09〕

地雷処理という仕事 —カンボジアの村の復興記—

高山良二 著

筑摩書房 819 円 (0012035260)

ジャンル：生き方・考え方に学ぶ

自衛隊退官後に NPO 法人に参加し地雷処理活動をおこなう著者が、この活動に携わるようになったいきさつと、カンボジアでの奮闘の日々をつづった。活動はなかなか思うように進まず、痛ましい被災事故もあるが、達成感は大きくと率直に語る。明るくたくましい現地の人と寝食を共にし、日本語を教え、不発弾に対する教育もする。「タエサン村のター(おじいさん)」として村にとけこんで暮らす様子は、戦争のない未来への可能性を感じさせてくれる。〔319.8〕

日本語を「外」から見る —留学生たちと解く日本語の謎—

佐々木瑞枝 著

小学館 777円 (0012014869)

ジャンル：知識・教養を深める

日本語教師である著者が、世界各国からの留学生に日本語と日本文化を教えるなかで感じた、日本語の難しさやおもしろさについて語る。旅行を「する」と言っても「やる」とは言わないのはなぜ、などの疑問が例文をあげて解説されている。自分が沸かしたのに「風呂が沸いてるよ」と言うのは相手に負担をかけない親切的な表現であるといった、文化的な要素についてもふれられており興味深い。ことばと文化の結びつきの深さについても改めて考えさせられる。〔810.7〕